

5 キャッシュ・フロー計算書について

本市下水道事業のキャッシュ・フロー計算書の状況は、次のとおりである。

(単位:千円)

	令和元年度	平成30年度	増減額
1 業務活動によるキャッシュ・フロー			
当年度純利益	665,080	279,249	385,831
減価償却費	3,558,242	3,481,239	77,003
退職給付引当金の増減額(△は減少)	25,658	28,745	△ 3,087
賞与引当金の増減額(△は減少)	△ 813	△ 16	△ 797
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△ 1,563	△ 795	△ 768
長期前受金戻入額	△ 1,815,809	△ 1,366,258	△ 449,551
受取利息及び配当金	△ 7	△ 5	△ 2
支払利息及び企業債取扱諸費	889,565	940,921	△ 51,356
固定資産除却損	28,246	48,418	△ 20,172
未収金の増減額(△は増加)	△ 309,084	90,559	△ 399,643
未払金の増減額(△は減少)	△ 204,924	162,159	△ 367,083
預り金の増減額(△は減少)	△ 7,970	△ 11,390	3,420
小 計	2,826,621	3,652,826	△ 826,205
利息及び配当金の受取額	7	6	1
支払利息及び企業債取扱諸費の支払額	△ 980,178	△ 953,047	△ 27,131
業務活動によるキャッシュ・フロー	1,846,450	2,699,785	△ 853,335
2 投資活動によるキャッシュ・フロー			
有形固定資産の取得による支出	△ 6,968,469	△ 6,603,260	△ 365,209
国庫補助金等による収入	2,082,364	1,986,622	95,742
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 4,886,105	△ 4,616,638	△ 269,467
3 財務活動によるキャッシュ・フロー			
一時借入れによる収入	3,100,000	1,600,000	1,500,000
一時借入金の返済による支出	△ 3,100,000	△ 1,600,000	△ 1,500,000
建設改良費等の財源に充てるための企業債による収入	1,093,900	691,000	402,900
その他の企業債による収入	522,900	498,300	24,600
建設改良費等の財源に充てるための企業債の償還による支出	△ 3,637,607	△ 3,110,742	△ 526,865
その他の企業債の償還による支出	△ 608,315	△ 441,494	△ 166,821
企業債前借による収入	4,414,200	4,074,800	339,400
他会計からの繰入による収入	444,088	419,014	25,074
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,229,166	2,130,878	98,288
資金増加額 (又は減少額)	△ 810,489	214,025	△ 1,024,514
資金期首残高	2,689,318	2,475,293	214,025
資金期末残高	1,878,829	2,689,318	△ 810,489

キャッシュ・フロー計算書では、決算対象期間における現金及び預金の増減状況が、3つの活動区分におけるキャッシュ・フロー(CF)で表される。

資金期末残高は、前年度に比べて8億1,048万9千円減少し、18億7,882万9千円となった。

投資活動のための資金が本来の業務活動による資金に対して不足するので、財務活動による資金で調達している形となっている。